

仕様一覧

品番	ギア比	最大トルク (kg)	自重 (g)	糸巻量 フ口 (lb-m)	糸巻量 PE (号-m)	最大巻上長 (cm/ハブ1 回転)	ハブ長 (mm)	ベアリング数 (ボール/ローラー)
XG LEFT	8.2	3.5	170	6-45 8-45	0.6-150 0.8-130 1.0-100	82	42	5 / 1
XG RIGHT	8.2	3.5	170	6-45 8-45	0.6-150 0.8-130 1.0-100	82	42	5 / 1

※本製品は、フロロカーボンプライムおよびPEライム専用となります。

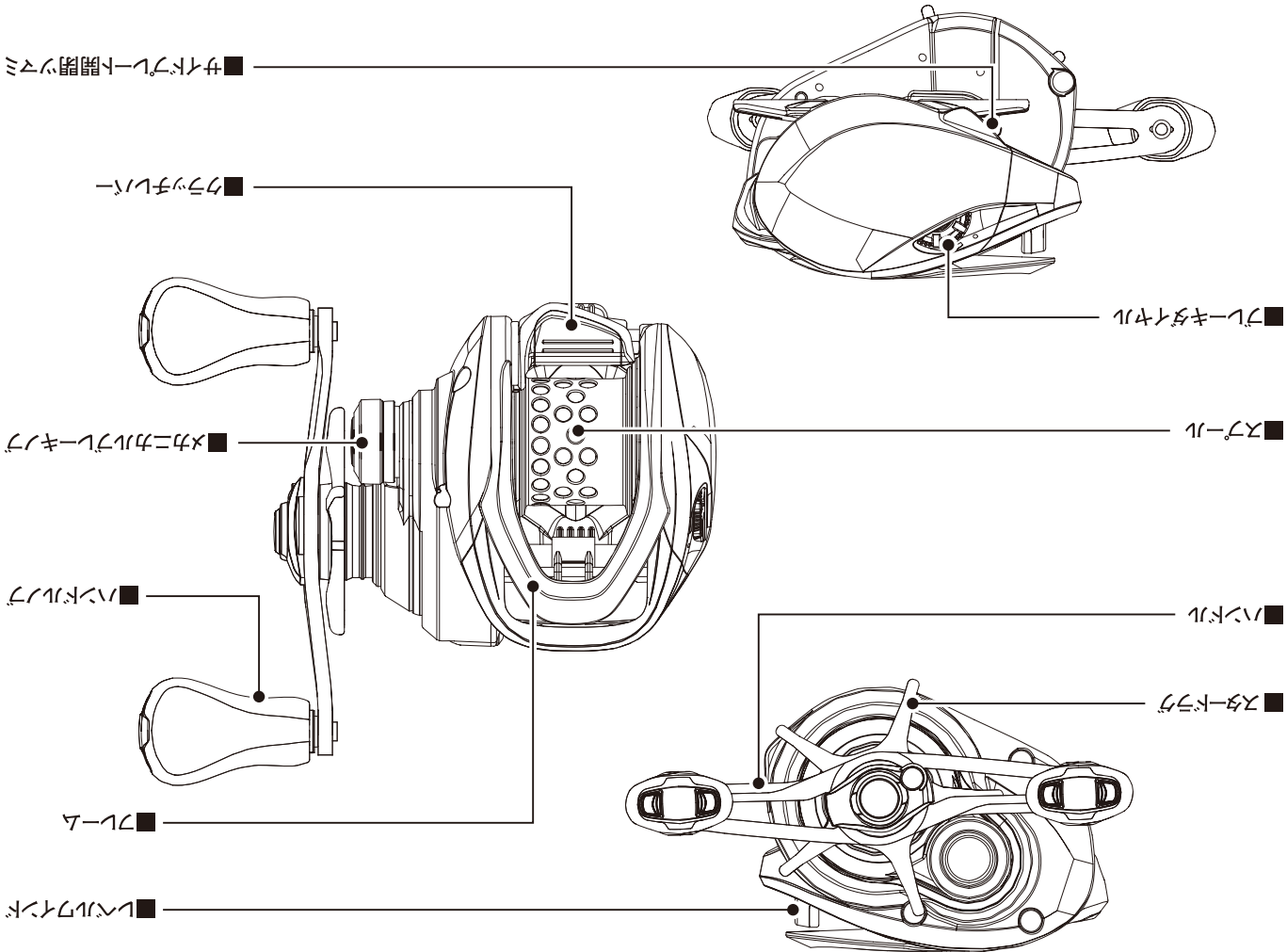
※低価格化のために、アール肉厚を薄く設計しております。表記の糸巻量を超える糸巻きはお避けください。

※フロロカーボンプライム45mの目安は、ハントル58回転となります。太さはライムによって異なりますので、目安としてご参照ください。

※細いライムを使用される際は、アールとフレームの隙間に糸が挟まる可能性がありますのでご注意ください。

サードパーティ

各部の名称 ※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。



●弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証いたしかねます。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理はお断りさせていただきます。不具合が生じた場合はそのままでの状態で買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。

●修理に出されるときは、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、不具合が生じたそのままでの状態で販売店へお持ちいただき、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／スッパ／が動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、サイクルクチュアリーサービス（https://www.shimano-fishing-service.jp/repair/direct_guide.php）をご利用ください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●自分て修理をされる場合の部品や替えスールののお取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コード・部品番号・部品名・パートNo.をご指定のうえ、お買い上げの販売店にて注文ください。内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例／製品名：スナフ C2000S 商品コード：043832 部品番号 131 部品名：スプール組 / パート No.10TH0）で自身で分解される場合の、分解、組立方法は弊社ではご案内致しかねます。

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。

●商品コード / 製品コードの位置

バックページ底面もしくは側面部に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

SLX
BFS
XG

取扱説明書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書の内容は予告なく更新させていただくことがあります。最新版はWEB版をご参照ください。

安全上・ご使用上のご注意

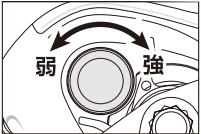
ご使用前に必ずお読みください。

 注意	
	●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。 ●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 ●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布さを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 ●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 ●キャスティングの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

使用方法・リールの準備 ※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

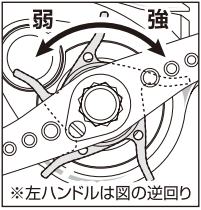
■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。一般的な調整方法として、スプールの左右のがたつきがなくなるところから、少しだけメカニカルブレーキを緩めた状態でお使いください。緩めすぎも、締めすぎもリール本来の性能を阻害する場合があります。風の強い時のキャストイング、スキッピングなど特定の状況においては適度にメカニカルブレーキを締めた方がキャストイングしやすくなります。



■スタードラグ

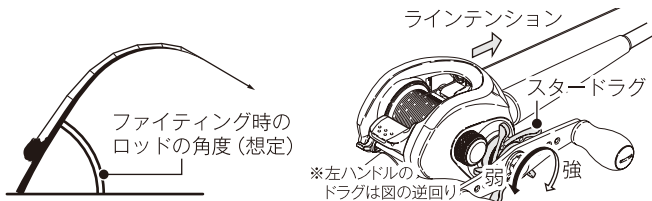
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。



■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づけるため、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。

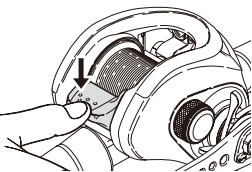


■エキサイティングドラグサウンドについて

エキサイティングドラグサウンドのドラグ音は、低ドラグ値に設定すると音が小さくなりますが、構造上必然的な現象であり故障ではございません。

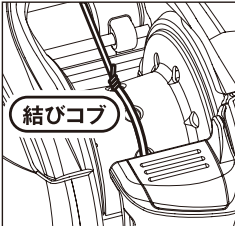
■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



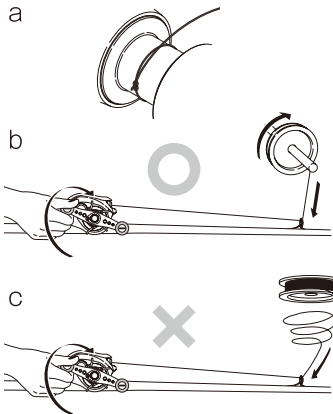
■スプールへの糸止め方法

スプールの穴に糸を結び、結びコブを穴に入れ込んでください。
* テープを貼り付けて固定しても大きな不具合にはなりませんが、回転性能を最大限に引き出すために推奨いたしません。
* 糸はレベルwind棒の上を通してください。



■糸の巻き方

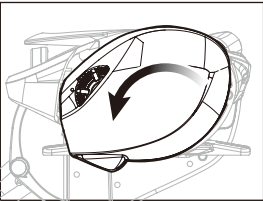
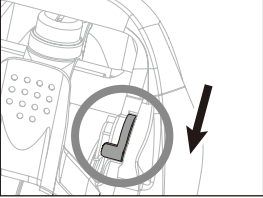
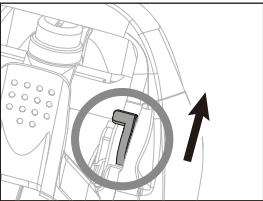
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図 a)
4. 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのボビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにしてください。(図 b) 図 c のようなにならないようご注意ください。



■サイドプレート開閉方法

レバーを押し上げることで、サイドプレートのロックが解除され、開くことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが下がっていてロックされている状態にしてください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

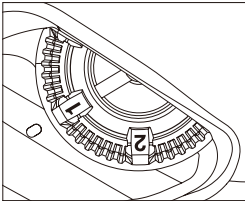
1. 開閉レバーを上げるとサイドプレートが開きます。
2. 閉じる際は逆の手順でサイドプレートを元の位置に収め、開閉レバーを下げてサイドプレートを閉じます。



※サイドプレートを外した状態で開口部を下に向けますと、スプールが脱落し、変形する恐れがあります。
※メカニカルブレーキを締めた状態でサイドプレートを開けると、スプールがサイドプレート側に寄せられているため、構造上サイドプレートが閉じられなくなります。サイドプレートを閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。

■FTB（フィネスチューンブレーキシステム）

ベイトフィネス専用に開発されたブレーキユニットレスの超軽量スプールのブレーキシシステムです。ブレーキの調整は外部ダイヤルで行ってください。ダイヤルの数字が大きいほどブレーキ力が大きくなります。



■キャストイング方法

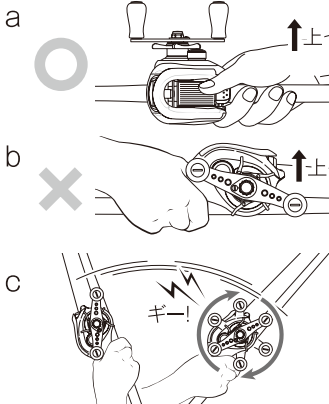
●正しい握り方

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。(図 a)

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

ハンドルを横向きにしてしまうと…(図 b)

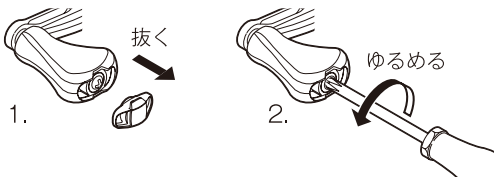
キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。(図 c)



※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギアの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。
※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。
※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

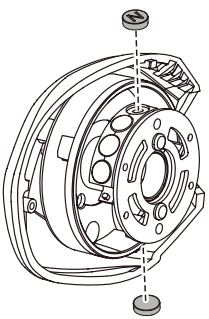
■ハンドルノブの取り外し方

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



■ブレーキ磁石の取り外し方

- 図の位置の磁石のみ取り外すことができます。もう少しブレーキの弱い所で微調整したい場合両側の磁石を取り外して使用してください。
- 磁石の脱着はブレーキダイヤルを6に設定した状態で行ってください。
- 再度装着する際はN表記側を図の様に外側に向けて磁石を装着してください。
※適切な向きで装着されない場合、仕様通りのブレーキ力が得られません。
- 磁石装着の際には、マグネットホルダーの磁石挿入箇所の異物を取り除いてから装着してください。
- 磁石の取り外しは磁性体（ドライバー等）を近づけることで可能です。
- 磁石着脱時には、磁石をボールベアリングに近づけないでください。
※ボールベアリングが磁化し、機能が著しく低下する恐れがあります。



磁石使用時の注意

1. 心臓ペースメーカーなどの電子医療機器を装着した人は磁石の使用をお控えください。また装着した人に磁石を近づける行為も大変危険となりますので、お止めください。
2. 磁石を飲み込むと生命にかかわる場合があります。特に小さなお子様の手の届くところには磁石を保管しないでください。誤って飲み込んだ場合は、至急医師の診断を受け指示に従ってください。
3. 磁石を磁気カードなどの磁気記録媒体に近づけると、データが破壊されて使用できなくなる恐れがあります。また、パソコン、テレビ画面、腕時計等の精密電子機器に近づけると故障の原因となる可能性がありますのでご注意ください。

お手入れ方法

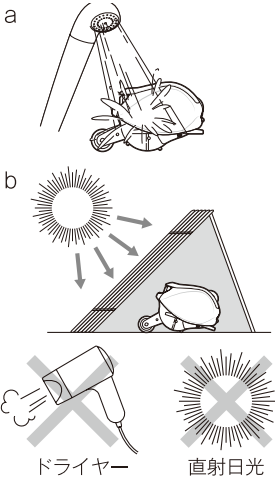
特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行う事をお勧めします。

必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例えば、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。(図 a)
スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。
※温水はグリスを洗い流す可能性があるの
でお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図 b)
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

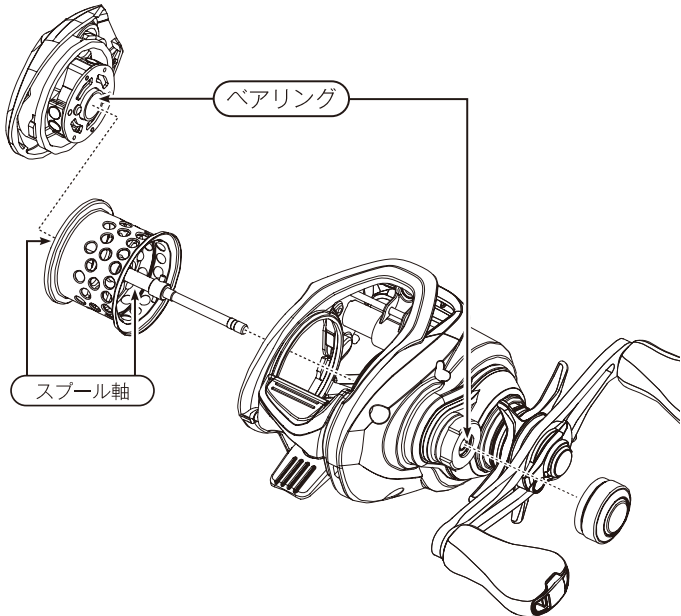
グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）
SP-013A（オイルスプレー）
SP-023A（グリススプレー）
SP-015L（ザルスリールオイルスプレー）
※最寄りの販売店にてお問い合わせください。

《注油上のご注意》

図の注油箇所、当社 BFS 専用オイルをごく少量注油してください。リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。
シマノ以外のオイルは使用しないでください。オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。
※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。
また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

●当二次元コードからリールのメンテナンス動画ページにアクセスできます。



SLX
BFS
XG